

教科別授業改善推進プラン（体育科）

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・児童同士で技を見合ったり、模範となる児童が発表したりすることで、自分の技に取り入れ、技能面が向上した児童が多かった。
- ・ペア学習やトリオ学習などの学び合いを通して、運動に対する思考力や技能の向上が見られた。
- ・児童の動きを確認する場面など、タブレット端末を活用することができている。

(2) 課題

- ・動きのポイントが分かっていない児童がいる。
- ・自分の動きに自信をもてない児童がいる。

2 重点課題

1 年	・自信をもち、いろいろな動きに取り組むこと。 ・体を巧みに動かして運動すること。 ・運動能力の個人差が大きいこと。 ・集団での遊びや運動を通して、協調性を身に付けること。
2 年	・体力に個人差が見られること。また、運動技能にも個人差が見られること。 ・集団行動を守ること。 ・ルールを守って運動し、ゲームの勝敗を受け入れること。
3 年	・基礎体力・技能を身に付けること。 ・技のポイントを意識して運動に取り組むこと。 ・ルールを守って運動し、ゲームの勝敗を受け入れること。
4 年	・技のポイントを意識して運動に取り組むこと。 ・運動経験や練習経験によって、技能の偏りがみられること。
5 年	・興味関心をもって体育の学習に取り組むこと。 ・運動経験や練習経験によって、技能の偏りがみられること。
6 年	・ボールを投げる能力を向上させること。 ・運動経験や練習経験によって、技能の偏りがみられること。

3 授業改善策

1 年	・工夫した動きやよい動きを紹介する活動を通じ、互いに認め合ったり、よい動きを意識して取り組めるようにしたりする ・遊びを通して、さまざまな動きを経験させる。 ・ゲーム遊びなど、小集団で遊ぶ経験や運動する経験を積ませる。
2 年	・主運動につながる基礎的、基本的な準備運動を取り入れ、運動感覚を養う。 ・ワークシートや掲示物を活用し、事前に見通しをもたせて行動させる。また、友達と励まし合って活動できたことを振り返る時間を多くとる。
3 年	・授業の始めに補助運動を取り入れる。 ・休み時間にクラス遊び等を行い、鬼遊びやボール遊びに取り組むよう促す。 ・分かりやすい絵入りのカードや映像などの活用をし、イメージをもちやすくする。また、友達のよい動きをまねさせ、様々な動きを体験させる。 ・ワークシートや掲示物を活用し、事前に見通しをもたせて行動させる。また、友達と励まし合って活動できたことを振り返る時間を多くとる。
4 年	・マット運動などは、技能ポイントを示す資料を用意してスモールステップで達成感を味わうことができるようにする。 ・苦手な運動内容については、動画等でイメージを捉えたり、必要な教具を使用したり、つまずきに応じた場の設定を行ったりしながら、継続して練習をしていく。
5 年	・各領域の授業の中で、個人の目標を子供自身が設定する場をつくる。そして、それぞれが目標を意識した学習につなげる。

	・タブレット端末等や掲示物で運動のポイントを視覚的に分かりやすく例示し、的確に動きが捉えられるようにする。
6 年	・日常生活の具体的な場面などの身近な例を挙げ、体力の必要性を実感できるようにする。 ・スモールステップを意識した場の設定を行う。 ・ボール運動の授業でボールを扱う際に、腕を大きく振ることや体重移動について、細かく指導をする。 ・タブレット端末等を活用し、体の動きの動画を録画する。その動画をみて、自分の目標や振り返りに活用する。
全学年 共通	・動きのポイントが分かる資料や映像資料を提示し、視覚的に理解できるようにする。 ・主運動に取り組む時間を 30 分間確保する。 ・規則を守ったり、チームのために動いたりしている児童を称賛していく。 ・一校一取組みを実施し、運動技能の向上を目指す。 ・休み時間が校庭割り当ての日は、外で遊ばせる。